

高校生を対象とした公開授業科目（第2学期） 及び夏の体験授業シラバス —平成30年度版—



「シラバス」とは・・・

各授業科目の詳細な授業計画のことです。一般に、授業名、担当教員名、講義目的、各回ごとの授業内容などが記されており、学生が各授業科目の準備学習等を進めるための基本となるものです。

【お問い合わせ】

香川県教育委員会 高校教育課 教育指導グループ

〒760-8582 高松市天神前6-1

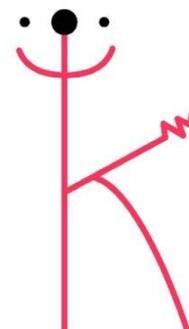
TEL 087-832-3750、FAX 087-806-0232

香川大学教育・学生支援室学務グループ

〒760-8521 高松市幸町1-1

TEL 087-832-1147、FAX 087-832-1155

（注）授業内容に関するお問い合わせは香川大学まで。



【公開授業科目(第2学期)】

| 授業科目名 | 教養/専門(注1) | 担当教員 | 期間(注2) | 曜日 | 時間 | 頁 |
|---------------------------|-----------|-----------------------|------------------------|----|----------------------------|----|
| 瀬戸内海的环境と保全 その1 | 教養教育 | 多田 邦尚 (農学部) | 10月4日～11月29日 (計8回) | 木 | 16:20～17:50 | 1 |
| 瀬戸内海的环境と保全 その2 | 教養教育 | 多田 邦尚 (農学部) | 12月6日～2月7日 (計8回) | 木 | 16:20～17:50 | 2 |
| 哲学A | 教養教育 | 佐藤 慶太 (大学教育基盤センター) | 10月4日～2月7日 (計16回) | 木 | 16:20～17:50 | 3 |
| グローバル時代の政治と社会 (夜間主コース) | 教養教育 | 藤井 篤 (法学部) | 12月4日～2月12日 (計15回) | 火 | 18:00～19:30 19:40～21:10 | 4 |
| 福祉住環境論 | 専門教育 | 妹尾 理子 (教育学部) | 10月2日～2月5日 (計15回) | 火 | 16:20～17:50 | 5 |
| 法思想史 | 専門教育 | 山本 陽一 (法学部) | 10月2日～2月5日 (計15回) | 火 | 16:20～17:50 | 6 |
| 政治思想 | 専門教育 | 金子 太郎 (法学部) | 10月5日～2月1日 (計15回) | 金 | 16:20～17:50 | 7 |
| 平和学 | 専門教育 | 石井 一也 (法学部) | 10月9日～2月4日 (計15回) | 月 | 16:20～17:50 | 8 |
| 政治学概論 | 専門教育 | 大賀 睦夫 (経済学部) | 10月5日～2月1日 (計15回) | 金 | 16:20～17:50 | 9 |
| 経営戦略論A | 専門教育 | 大杉 奉代 (経済学部) | 10月5日～2月1日 (計15回) | 金 | 16:20～17:50 | 10 |
| 経営管理論(夜間主コース) | 専門教育 | 青木 宏之 (経済学部) | 10月5日～11月30日 (計15回) | 金 | 18:00～19:30 19:40～21:10 | 11 |

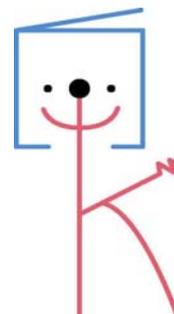
(注1) 香川大学の教育は、特定の専門分野に限定されない幅広い知識・能力を養う「**教養教育(全学共通科目)**」と、専門職業人を養成するための「**専門教育(学部開設科目)**」と、から成ります。
1年次の間は教養教育を中心に、2年次以降は専門教育を中心に学びます。

(注2) 授業スケジュール編成の都合上、一部の授業においては、通常とは異なる曜日に開講したり、休講になったりすることがあります。
詳細は、18～19頁の「平成30年度行事予定表」をご参照ください。
(昼間と夜間主コースで授業スケジュールが異なります。お間違えのないようにお願いします。)

【夏の体験授業】

| 講座名 | 開設学部 | 期間 | 曜日 | 時間 | 頁 |
|---|-------|-----------------------|----|--|-------|
| グループディスカッションを体験しよう! | 教育学部 | 8月7日 | 火 | 9:30～12:00 | 12 |
| 科学・技術の面白さを体験しよう | 創造工学部 | 7月25日(水) ～7月27日(金) | — | 午前の部: 10:00～13:00 午後の部: 14:00～17:00 | 13～16 |
| 農学部サイエンスアドベンチャー講座2018 “厳しい環境に耐える植物のしくみとその利用” | 農学部 | 8月7日 | 火 | 10:30～12:00講義 13:00～16:00研究室体験等 | 17 |

大学の授業には、いろんな「気づき」があるよ。
その「気づき」を高校に持ち帰ってみよう。
高校の授業の見方も変わってくるはず!
大学生との交流も良い刺激になるよ!



| | |
|---|--|
| 授業科目名 瀬戸内海の環境と保全 その1 Environment of the Seto Inland Sea and its conservation first period | 時間割 10月4日(木) ~ 11月29日(木) 毎週木曜日 16時20分 ~ 17時50分(計8回) ただし、11月1日(木)は、振替授業で金曜日の授業になりますので、授業はありません。 |
| 担当教員名 多田 邦尚 | 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(20ページ参照)にお越しください。 |
| 学習時間 授業90分×7回 + 授業45分×1回 + 自学自習 | |
| 授業の概要 【キーワード】 瀬戸内海、環境 瀬戸内海は世界でも稀な素晴らしい多様な環境と高い生物生産性をもつ海である。一方、この海は、高度経済成長期に瀕死の海と言われるまで環境は悪化した。その後、様々な環境改善の努力により、水質はかなり改善されたものの生物量や生物多様性は回復していない。本講義では、まず、瀬戸内海を自然科学、人分科学的側面から眺め、現在、瀬戸内海が直面している様々な問題について解説するとともに、香川大学で研究された最近の研究成果についても紹介する。 | |
| 授業の目的 我々の身近な瀬戸内海を自然科学的、文化的側面から眺め、瀬戸内海に対する理解を深める。さらにその自然をどのように守り、また地域住民あるいは地方自治体が海とどのように触れあってゆけばよいのかを、自然科学の立場と人文科学の立場からも理解することを目的とする(共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸問題に対する探求能力」に対応)。 | |
| 到達目標 | |
| <ol style="list-style-type: none"> 履修後には、瀬戸内海の自然環境や歴史・文化的側面について、他人に幾つかのトピックを紹介できる。 瀬戸内海に対する理解を深めるとともに、直面している環境問題を説明できる。 瀬戸内海周辺に暮らす一人の人間として、この海を守るために、何が大切かを考え、必要な時には行動を起こすことができる。 | |
| 授業計画並びに授業及び学習の方法 | |
| 【授業計画】 第1週 講義の概要、「瀬戸内海とは？」 第2週 瀬戸内海の環境の現状と課題 第3週 赤潮の科学-1 第4週 赤潮の科学-2 第5週 河川の水質変化と環境行政の対応-1 第6週 河川の水質変化と環境行政の対応-2 第7週 瀬戸内海に現存する干潟・藻場 第8週 干潟・藻場の役割(45分授業) 【授業及び学習の方法】 最初に、本授業の責任者の多田より概要を説明し、その後、4名の教員で順番に行います。授業では、参考図書等や参考資料も紹介します。それらを用いて復習をしっかりと行ってください。 【自学自習のためのアドバイス】 授業中に、参考図書や、自分で調べておいて欲しい事などを述べます。それらを参考に授業で取り扱ったトピックについて自学自習に取り組んで下さい。 | |
| 教科書・参考書等 教科書は特に定めない。参考書は授業のなかで紹介する。 | |
| 履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業は、欠席せず、連続して聞いてください。受け身にならず、自分から積極的に授業に参加して下さい。この授業は、「その1」と「その2」をあわせてセメスター型科目として開講される授業です。「その1」と「その2」をあわせて受講して下さい。 | |

| | |
|--|---|
| 授業科目名 瀬戸内海の環境と保全 その2 Environment of the Seto Inland Sea and its conservation second period | 時間割 12月6日(木) ～ 2月7日(木) 毎週木曜日 16時20分 ～ 17時50分(計8回) 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(20ページ参照)にお越しください。 |
| 担当教員名 多田 邦尚 | |
| 学習時間 授業90分×7回 + 授業45分×1回 + 自学自習 | |
| 授業の概要 【キーワード】 瀬戸内海、環境 瀬戸内海は世界でも稀な素晴らしい多様な環境と高い生物生産性をもつ海である。一方、この海は、高度経済成長期に瀕死の海と言われるまで環境は悪化した。その後、様々な環境改善の努力により、水質はかなり改善されたものの生物量や生物多様性は回復していない。本講義では、まず、瀬戸内海を自然科学、人分科学的側面から眺め、現在、瀬戸内海が直面している様々な問題について解説するとともに、香川大学で研究された最近の研究成果についても紹介する。 | |
| 授業の目的 我々の身近な瀬戸内海を自然科学的、文化的側面から眺め、瀬戸内海に対する理解を深める。さらにその自然をどのように守り、また地域住民あるいは地方自治体が海とどのように触れあってゆけばよいのかを、自然科学の立場と人文科学の立場からも理解することを目的とする(共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸問題に対する探求能力」に対応)。 | |
| 到達目標 | |
| 1. 履修後には、瀬戸内海の自然環境や歴史・文化的側面について、他人に幾つかのトピックを紹介できる。 2. 瀬戸内海に対する理解を深めるとともに、直面している環境問題を説明することができる。 3. 瀬戸内海周辺に暮らす一人の人間として、この海を守るために、何が大切かを考え、必要な時には行動を起こすことができる。 | |
| 授業計画並びに授業及び学習の方法 | |
| 【授業計画】 第1週 漁業生産を支える瀬戸内海-1 第2週 漁業生産を支える瀬戸内海-2 第3週 水産廃棄物の有効利用と海域環境改善 第4週 波浪エネルギー吸収技術と防災への備え 第5週 慶長年間の讃岐国絵図に見る海岸線-1 第6週 慶長年間の讃岐国絵図に見る海岸線-2 第7週 慶長年間の讃岐国絵図に見る海岸線-3 第8週 まとめ(45分間授業) 【授業及び学習の方法】 最初に、本授業の責任者の多田より概要を説明し、その後、4名の教員で順番に行います。授業では、参考図書等や参考資料も紹介します。それらを用いて復習をしっかりと行ってください。 【自学自習のためのアドバイス】 授業中に、参考図書や、自分で調べておいて欲しい事などを述べます。それらを参考に授業で取り扱ったトピックについて自学自習に取り組んで下さい。 | |
| 教科書・参考書等 教科書は特に定めません。参考書は授業のなかで紹介する。 | |
| 履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業は、欠席せず、連続して聞いてください。受け身にならず、自分から積極的に授業に参加して下さい。この授業は、「その1」と「その2」をあわせてセメスター型科目として開講される授業です。「その1」と「その2」をあわせて受講してください。 | |

| | |
|--|---|
| 授業科目名 哲学A 哲学の歩み History of Philosophy | 時間割 10月4日(木) ～ 2月7日(木) 毎週木曜日 16時20分 ～ 17時50分(計16回) ただし、11月1日(木)は、振替授業で金曜日の授業になりますので、授業はありません。 |
| 担当教員名 佐藤 慶太 | 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(20ページ参照)にお越しください。 |
| 学習時間 講義90分×14回+講義45分×2回+自学自習 | |
| 授業の概要 「哲学」とは、通常自明視されていること、「常識」とみなされていることを改めて問う学問です。この授業では、そのような哲学的な考え方の特質を「美に客観的な基準はあるか」、「〈私〉とはなにか」といった哲学的な問題に即して説明します。前半は、古代から中世までの哲学を扱います。後半は、17世紀から現代の哲学を扱います。前後半の内容を連関させると西洋哲学史の展開を概観できるようになっています。 | |
| 授業の目的 西洋哲学の主要な諸学説と、西洋哲学の歩みを理解するとともに、哲学的な問題について自分の考えを論証できるようになる(共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)。 | |
| 到達目標 | |
| ①授業で扱う哲学者の学説について説明することができる。 ②授業で扱う哲学者が用いる主要な概念について説明することができる。 ③哲学の問題について、根拠づけのしっかりとした主張をすることができる。 ④文章を通じて、自分の主張を分かりやすく相手に伝えることができる。 | |
| 授業計画並びに授業及び学習の方法 | |
| 【授業の方法】 ・授業は「レクチャー」と「ワーク」の二つの部分から構成されます。「レクチャー」では教員が過去の哲学者の学説をいくつかの問題に即して紹介し、その内容(問題設定や論理)について説明します。「ワーク」では、授業時間内に哲学的な問題にかんするミニレポートに取り組んでもらいます。提出してもらったミニレポートは担当教員がまとめ、次の授業で紹介・検討します。 ・全体は、大きく二つに分かれます。前半(1回～8回)では、古代から中世までの哲学をあつかいます。8回目に中間テストを行います。中間テストでは、前半に扱った内容に基づいて出題します。後半(9回～15回)では、17世紀から現代までの哲学を扱います。期末テストでは、後半に扱った内容に基づいて出題をします。 【授業計画】 (1)イントロダクション：哲学の始まりについて (2)悪いことをする人は、それが悪いとわかっているか：ソクラテス (3)美の基準はあるか：プラトン (4)刑罰が怖いから、人間は悪いことをしないのか：キケロー (5)自分の信念のために誰かを傷つけてよいか：旧約聖書と新約聖書 (6)時間とは何か：アウグスティヌス (7)神は存在するか：トマス・アキナス (8)ふりかえり+中間テスト (9)リアリティの指標はなにか：後半イントロダクション+デカルト (10)〈私〉とはなにか：ヒューム (11)私たちの心は白紙から始まるか：カント① (12)人間は自由な存在者か：カント② (13)すべての人間の行動の源泉は支配欲か：ニーチェ (14)哲学的な概念について議論することに意味はあるか：ヴィトゲンシュタイン (15)科学をどこまで頼りにできるか：マルクス・ガブリエル (16)振り返り+期末テスト 【自学自習のためのアドバイス】 次回の授業で取り上げる哲学者について、授業時間内に参考資料を配布、ないしは紹介するので、それを次の時間までに読んでみてください。 また、ミニレポートの課題についても事前に告知するので、それについてあらかじめ自分の考えをまとめてくると、授業に取り組みやすいでしょう。 | |
| 教科書・参考書等 教科書はありません。授業中にプリント配布します。 参考書については、授業中に適宜紹介します | |
| 履修上の注意・担当教員からのメッセージ 哲学についての基礎知識がなくても、受講に問題はありません。哲学にすこしでも興味があれば、それが受講資格になります。 | |

| | |
|---|--|
| 授業科目名 グローバル時代の政治と社会 Politics and Society in the Globalization Era | 時間割 1月4日(火) ～ 2月12日(火) 毎週火曜日 18時00分 ～ 19時30分 19時40分 ～ 21時10分(計15回) ただし、1月15日(火)は、振替授業で月曜日の授業になりますので、授業はありません。 |
| 担当教員名 藤井 篤 | 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(20ページ参照)にお越しください。 |
| 学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習 | |
| 授業の概要 私たちの身近な場所で進んでいるグローバル化を経済の事例から説明し、そうした経済グローバル化の推進者としてのアメリカの覇権とその限界を考える。グローバル化の負の側面として貧富の格差の拡大、新しい貧困や社会的リスクの誕生、文化摩擦や排外主義の台頭などに目を向け、現在進行しているグローバル化に変わる「もうひとつのグローバル化」の可能性を探る。 | |
| 授業の目的 グローバル化は私たちの生活世界の全般に影響を与えているが、この現象を経済・政治のほか、家族・地域社会・医療・移民などさまざまな切り口から考えてみる。21世紀社会に求められている持続可能な発展に貢献するために(共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸問題に対する探究能力」に対応)、グローバル化が世界の人々を多面的・多元的に結びつける現象であることを理解できるようになる。 | |
| 到達目標 | |
| 1. グローバル化が経済・政治・文化など多面的な現象であることを説明できる。 2. グローバル化の正と負の側面を具体的に説明できる。 3. グローバル化について自分の意見を述べるができる。 | |
| 授業計画並びに授業及び学習の方法 | |
| 【授業の方法】 毎回プリントを配布し、口述により行うが、映像をも取り入れる。 【授業計画】 授業計画 第1回 インTRODクシヨン グローバル化とは何か 第2回 グローバル化はいかにして始まったか 第3回 経済グローバル化の進展 第4回 アメリカの覇権とその限界 第5回 グローバル化と家族・地域社会 第6回 グローバル化と国民国家 第7回 格差社会と新しい貧困 第8回 中間テスト 第9回 マイケル・ムーア『シッコ』を見る 第10回 マイケル・ムーア『シッコ』についての討論 第11回 移民と多文化共生社会 第12回 ポピュリズム政党の台頭 第13回 反グローバル化運動 第14回 公正なグローバル社会を求めて 第15回 わたしたちの社会のゆくえ 第16回 定期末試験 授業の進捗状況により、一部講義内容や順序を変更することがありうる。 【自学自習に関するアドバイス】 第2-7週 講義で紹介された参考書を読み、インターネットで関連情報を調べる。 第9-10週 アメリカの医療について調べた上で、この映画に関する感想文を書く 第11-15週 講義で紹介された参考書を読み、インターネットで関連情報を調べる。 | |
| 教科書・参考書等 教科書は指定しない。参考書は毎週紹介する。 | |
| 履修上の注意・担当教員からのメッセージ 私語厳禁。出席はとらないが、継続的に出席していないと単位取得は不可能である。 | |

| | |
|---|---|
| 授業科目名 福祉住環境論 Theory of Housing Environment for Welfare | 時間割 10月2日(火) ～ 2月5日(火) 毎週火曜日 16時20分 ～ 17時50分(計15回) ただし、10月9日(火)及び1月15日(火)は、振替授業で月曜日の授業になりますので、授業はありません。 |
| 担当教員名 妹尾 理子 | 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(20ページ参照)にお越しください。 |
| 学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習 | |
| 授業の概要 高齢者や障がい者に対する住環境整備に必要な知識や手法を福祉・医療・建築の3つの視点から総合的に学習する。福祉住環境コーディネーター3級レベルの知識・理解を得ることをめざしつつ、これからの福祉住環境の在り方を探る。 | |
| 授業の目的 ① 福祉住環境コーディネーター3級レベルの知識・理解を得ることをめざす。 ② 受講者それぞれが、今後の少子高齢社会における住環境を中心とした福祉の在り方への考察を深める。 | |
| 到達目標 | |
| ① 福祉住環境コーディネーター3級レベルの知識を身につける。 ② 今後の少子高齢社会における住環境を中心とした福祉の在り方について、自分の考えを説明できる。 | |
| 授業計画並びに授業及び学習の方法 | |
| 講義を中心に、実習や課題作成、グループワークとその発表など、多様な授業方法を取り入れて授業を進める。 第1回 ガイダンス 第2回 多様なバリアとバリアフリー 第3回 ユニバーサルデザイン 第4回 高齢社会と高齢者の特性 第5回 高齢者の心身の機能と特性 第6回 家庭内事故と安全 第7回 高齢者のための建築計画 第8回 住居製図の基礎 第9回 住居製図の実際 第10回 これからの高齢者の住まい・住まい方 第11回 「共に住む」暮らし (シェア住宅) 第12回 「共に住む」暮らし (共同住宅) 第13回 福祉住環境コーディネーター 第14回 広がる多様な試み 第15回 まとめ <自学自習に関するアドバイス> 新聞や雑誌の住まいや住環境に関する記事など、日常的に情報を得るように心がけてください。学習をもとに、自分や家族、地域の生活を見つめなおし、何ができるか、多様な発想ができることが求められます。レポート課題が出ることがあります。 | |
| 教科書・参考書等 資料・プリントを配布し、視聴覚資料も適宜使用する。 参考文献：住宅総合研究財団『自分らしく住むためのバリアフリー』(岩波書店)等 | |
| 履修上の注意・担当教員からのメッセージ 課題作成やその発表に積極的に取り組んでください。 | |

| | |
|--|---|
| 授業科目名 法思想史 | 時間割 10月2日(火) ～ 2月5日(火) 毎週火曜日 16時20分 ～ 17時50分(計15回) ただし、10月9日(火)及び1月15日(火)は、振替授業で月曜日の授業になりますので、授業はありません。 |
| 担当教員名 山本 陽一 | 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(20ページ参照)にお越しください。 |
| 学習時間 講義90分×15回+自学自習 | |
| 授業の概要 この授業は、法学を支える基本概念について歴史的な観点から考察する。授業では、古典的な著作や判例などを取り上げ、歴史的背景とともに分析・考察する。 | |
| 授業の目的 この授業の目的は、① 法学上の基本概念を理解すると同時に、分析能力を訓練することである。また、② 歴史的アプローチの重要性も認識してほしいと考えている。受講者は、現行法が踏まえている歴史の一端を理解することで法学への興味を深めることができる。 | |
| 到達目標 | |
| 1. 歴史的な文脈のなかで法が果たす役割を理解する。 2. 法思想の大きな流れを特に立憲主義の形成という観点から把握する。 3. 諸外国の例を学び、日本の場合と比較する。 | |
| 授業計画並びに授業及び学習の方法 | |
| 1 ガイダンス 2～3 近代立憲主義の形成：17世紀イギリス市民革命 4 法人国家論：ホッブズ 5 アンチホッブズ：ロウソンとロック 6 中間テスト(1) 7 所有権の基礎づけと市民社会の自立 8～9 アメリカにおける立憲主義の形成 10 中間テスト(2) 11～13 日本における近代化と立憲主義 14 天皇機関説 15 日本国憲法の編制と歴史的な文脈 資料によって講義をするので、受講者は事前に目を通した上で参加してください。また、各自でノートを作成し、復習に役立ててください。 | |
| 教科書・参考書等 なし 適宜指示する | |
| 履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業計画は一部変更することがあります。中間テスト(1)(2)の詳細については、実施の7日前までに掲示により連絡します。 | |

| | |
|---|---|
| 授業科目名 政治思想 Political Thought | 時間割 10月5日(金) ～ 2月1日(金) 毎週金曜日 16時20分 ～ 17時50分(計15回) ただし、11月1日(木)及び1月16日(水)は、振替授業で金曜日の授業になります。また、11月2日(金)及び1月18日(金)は休講です。 |
| 担当教員名 金子 太郎 | 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(20ページ参照)にお越しください。 |
| 学習時間 講義90分×15回+自学自習(予習は不要。復習としてその回に配布されたプリントをよく読み返して下さい。) | |
| 授業の概要 19世紀から20世紀終わりまでの政治思想、経済思想を扱う。「政治思想」という科目名なのに経済思想も併せて扱うのは、そうしないとこの時代を理解することは不可能だからである。前半は政治思想、後半は経済思想を中心に講義する。 前半の政治思想については、いきなり19世紀から話を始めるのは無理があるので、17世紀から話を始める。17世紀の自由主義の始まりから話を始めて、18世紀の人民主権、19世紀以降の自由民主主義について講義する。後半は主に経済思想について講義する。資本主義、社会主義、共産主義、帝国主義、ケインズ主義、開発主義、市場主義などについて、最低限の政治史の内容と併せて講義する。 【他の授業科目との関連】 「政治学入門」では簡単に触れた程度の政治思想について、そのもとの本・古典を読みながら理解を深める。この時代より前の時代の法思想、政治思想については「法思想史」で聞いて欲しい。世界史の近現代史については「国際関係論」「政治史」で聞いて欲しい。 | |
| 授業の目的 19世紀から20世紀という時代に様々な思想がどのように生まれ、展開していったかを大まかな政治史とともに理解すること。 | |
| 到達目標 | |
| 19世紀～20世紀の世界史を政治思想、経済思想の観点から大掴みに理解できるようになること。どういう思想が歴史のどういう経緯で生まれ、どう展開して行き、どういう経緯である思想は生き残り、ある思想は消えて行ったかを理解すること。 | |
| 授業計画並びに授業及び学習の方法 | |
| プリントを配布し、口述と板書で説明をしながら進める。プリントの量が非常に多くなるが、これは口述と板書だけで講義する場合よりも伝えられる情報量が何倍も多くなるからである。また政治思想の古典や面白い本を読むきっかけにもなって欲しいと思ってやっていることなので、容赦して欲しい。 (1) イントロダクション (2) 自由主義(1) ロック (3) 自由主義(2) モンテスキュー (4) 人民主権 ルソー (5) 保守主義 バーク (6) 自由民主主義 コンスタン (7) 「多数の暴政」 トクヴィル (8) 古典的自由主義の完成 J.S. ミル と選挙権の拡大 (9) 資本主義 (10) 社会主義、共産主義；帝国主義 (11) ケインズ主義 (12) 福祉国家 (13) 開発主義 (14) 市場主義 (15) まとめ(比較政治経済体制の視座) 【おことわり】 前期の「政治学入門」との連続性を考えて、後半の経済思想の部分と前半の政治思想の部分を入れ替えて講義することがあります。 【自学自習に関するアドバイス】 予習は必要ありませんが、復習に配布されたプリントをよく読み返して下さい。 | |
| 教科書・参考書等 教科書は使用しない。 参考書は福田歓一『政治学史』(東大出版会)、猪木武徳『経済思想』(岩波書店)、ヤーギン・スタニスロー『市場対国家』(日経文庫) | |
| 履修上の注意・担当教員からのメッセージ 試験は持ち込み不可の論述形式の予定です。授業の重要なポイントを論理的に詳しく論述できるように準備をして欲しい。 | |

| | |
|---|--|
| 授業科目名 平和学 Peace Studies | 時間割 10月9日(火) ～ 2月4日(月) 毎週月曜日 16時20分 ～ 17時50分(計15回) ただし、10月9日(火)、11月7日(水)及び1月15日(火)は、振替授業で月曜日の授業になります。また、11月5日(月)は休講です。 |
| 担当教員名 石井 一也 | 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(20ページ参照)にお越しください。 |
| 学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習 | |
| 授業の概要 国際平和研究学会が、その目的を「平和の諸条件、および戦争およびその他の暴力の諸原因に関する学際的研究を促進すること」においてるように、「平和」は単に「戦争」の対概念ではない。ヨハン・ガルトゥングは、「構造的暴力」という概念によって、社会に埋め込まれた様々な「暴力」を認識する枠組みを示した。旧ソ連・東欧社会の崩壊によって東西問題は解消したかに見えるが、南北問題は、そうした「構造的暴力」の典型としてなお国際社会の前に立ちはだかっている。 そこで本講義では、南北問題に焦点を当て、「南」の貧困解決のために採られてきた様々な開発戦略を解説する。非政府組織(NGO)が、ポスト冷戦の時代に、従来の政府や企業を補完するもう一つの社会経済開発の担い手として躍進する中で、開発論の焦点が、経済開発から人間開発へとシフトしてゆく経緯を辿る。人間開発論およびこれを支えるアマルティア・センの経済学は、開発論の一つのフロンティアを画するものであるが、これをエコロジーの観点から批判的に検討することによって、平和のための社会科学には何が必要かを検討する。 | |
| 授業の目的 本講義は、平和に対するひとつの学問的アプローチを提示しようとしている。その目的は、学生が、法学や政治学の枠を越えて、平和の問題を考察する視座を理解できるようにすることにある。 | |
| 到達目標 | |
| 本講義の到達目標は、つぎのとおりである。 ① 平和学の特徴である学際的アプローチの意味を理解できる。 ② 開発論の基本的な展開を、南北問題の歴史的展開の中で理解できる。 ③ 開発論におけるセン経済学の重要性とともに、開発論の更なる発展の可能性を理解できる。 | |
| 授業計画並びに授業及び学習の方法 | |
| 講義は、口述と板書を基本とするが、一つ一つの項目の理解を確実なものとするべく、適宜質疑応答の時間を設ける。 第1回 はじめに：平和学と学際的アプローチ 第2回 ヨハン・ガルトゥングの「構造的暴力」 第3回 南北問題の現状①：経済・社会的諸指標 第4回 " " ②： " " " 第5回 南北問題の歴史的展開：東西問題との関連において 第6回 開発理論1：ロストウの「離陸」理論 第7回 開発理論2：輸入代替工業化 第8回 開発理論3：輸出志向工業化 第9回 小テスト／開発理論4：最低人間必要(Basic Human Needs)戦略：スリランカを事例として 第10回 開発理論5：人間開発理論 第11回 国連開発計画の「人間の安全保障」論：「国家の安全保障」との対比において 第12回 アマルティア・センの経済学：功利主義との対比において 第13回 セン経済学の批判的検討：エコロジーの観点から 第14回 生態系の危機とE. F. シューマッハーの経済学 第15回 おわりに：平和のための社会科学を目指して 自学自習について 本講義は、多種多様な文献に基づいて構成されているため、特定の教科書を指定することはできない。授業中に示された関連文献を事前読み、講義内容を復習することが求められる。 | |
| 教科書・参考書等 特に指定しない。 適宜指示する。 | |
| 履修上の注意・担当教員からのメッセージ 出席は取らないが、講義期間中に小テストを実施する。実施日は、講義中に通達するので、くれぐれも注意すること。 | |

| | |
|--|---|
| 授業科目名 政治学概論 Political Science | 時間割 10月5日(金)～2月1日(金) 毎週金曜日 16時20分～17時50分(計15回) ただし、11月1日(木)及び11月16日(水)は、振替授業で金曜日の授業になります。また、11月2日(金)及び11月18日(金)は休講です。 |
| 担当教員名 大賀 睦夫 | 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(20ページ参照)にお越しください。 |
| 学習時間 講義90分×15回+自学自習 | |
| 授業の概要 学生諸君に政治学の基礎理論を理解してもらうことを目標にしています。ただし、「真であって、かつ自明ではない法則や命題に乏しい」のが政治学です。ですから、具体的事例をとおして理論を学ばなければ役に立つ生きた知識になりません。授業では可能な限り、具体的事例を取り上げて考察します。政治的な問題を扱ったビデオもできるだけ使用します。 | |
| 授業の目的 政治を紛争解決の仕事と広く解釈すると、政治問題は家庭内から国際社会まで、いたるところに存在します。政治問題に直面したときに、適切な対応が取れるかどうかは、個人にとっても社会にとっても非常に重要なことです。この授業では、政治問題を政治学的方法によって分析する能力を養います。これによって、政治問題の本質が理解できるようになると思います。 | |
| 到達目標 | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 政治問題に関心をもてるようになる。 2. 政治に科学的考察を加えることができる。 3. 市民としての自覚をもてるようになる。 | |
| 授業計画並びに授業及び学習の方法 | |
| 毎回、政治学の重要なテーマを一つ取り上げて、それに関連した事例を紹介し、理論的問題を解説します。毎回ハンドアウトを配布します。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 導入 (2) 政治とはなにか (3) 状況・制度・組織 (4) 象徴としての事件(1) (5) 同上(2) (6) 政治文化(1) (7) 同上(2) (8) 認知的不協和と政治 (9) アノミーと政治(1) (10) 同上(2) (11) 権力の実体概念・関係概念 (12) リーダシップの型 (13) ソーシャル・キャピタル (14) 歴史の終わり? 文明の衝突? (15) まとめ | |
| 教科書・参考書等 教科書は使用しない。 推薦図書は、永井陽之助・篠原一『現代政治学入門』有斐閣、1984 | |
| 履修上の注意・担当教員からのメッセージ 時間厳守。授業開始から15分経過後は入室できない(ドアをロックします)。 | |

| | |
|--|--|
| 授業科目名 経営戦略論 A Management Strategy A | 時間割 10月5日(金) ～ 2月1日(金) 毎週金曜日 16時20分 ～ 17時50分(計15回) ただし、11月1日(木)及び1月16日(水)は、振替授業で金曜日の授業になります。また、11月2日(金)及び1月18日(金)は休講です。 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(20ページ参照)にお越しください。 |
| 担当教員名 大杉 奉代 | |
| 学習時間 講義90分×15回+自学自習 | |
| 授業の概要 本講義は、企業の基本的方向性を設定する経営戦略に焦点をあて、これまでの経営戦略論における論点を提示し、企業の経営戦略に関するさまざまな分析手法について講義を行う。 | |
| 授業の目的 本講義は、経営戦略論を理解するための枠組み、概念、理論を学ぶ。また、有効な経営行動の表示、それがなぜ有効なのかの理論的考察も行うと同時にディスカッションを行うための知識を習得しながら、経営戦略論への理解を深める。 | |
| 到達目標 | |
| この講義の目標は2つあります。 ①経営戦略論の基本的な考え方や理論を理解できている。 ②それを用いて問題を解決するための能力を身につける。 | |
| 授業計画並びに授業及び学習の方法 | |
| 【授業の方法】 パワーポイントと板書による講義を行う。 【授業計画】 第1回：イントロダクション 第2～3回：経営戦略とは 第4回：ミッション 第5回：ドメイン 第6回：環境・資源分析 第7回：成長ベクトル 第8回：多角化 第9回：製品・ポートフォリオ・マネジメント 第10回：成長戦略の展開 第11回：業界の構造分析 第12回：競争の基本戦略 第13回：バリューチェーン 第14回：競争戦略の展開 第15回：講義のまとめ 【自学自習に関するアドバイス】 <予習> 日頃から新聞やインターネットなどを活用し、企業の経営活動や経営学に関心をもっておくこと。教科書の該当箇所を読んでおくこと。 <復習> 定期的に課題レポートを課すので、それに向けた講義内容の理解を深めておくこと。 | |
| 教科書・参考書等 教科書： 『経営戦略入門』井上善海・大杉奉代・森宗一著、中央経済社、2015年。 参考書： 『7つのステップで考える戦略のトータルバランス』井上善海著、中央経済社、2011年 『よくわかる経営戦略論』井上善海・佐久間信夫編著、ミネルヴァ書房、2008年。 『経営戦略論(新版)』大滝精一・金井一頼・山田英夫・岩田智著、有斐閣アルマ、2006年。 | |
| 履修上の注意・担当教員からのメッセージ 進行状況に応じて授業計画を変更することがある。私語など、他の受講者の迷惑になるような行為は慎むこと。 | |

| | |
|--|--|
| 授業科目名 経営管理論 Principles of Management | 時間割 10月5日(金) ～ 11月30日(金) 毎週金曜日 18時00分 ～ 19時30分 19時40分 ～ 21時10分 (計15回) ただし、11月1日(木)は、振替授業で金曜日の授業になります。 また、11月2日(金)は休講です。 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階 (20ページ参照)にお越しください。 |
| 担当教員名 青木 宏之 | |
| 学習時間 授業90分 × 15回 + 自学自習 | |
| 授業の概要 この授業では経営管理論における基本的な概念や理論を幅広く解説している。第一に、経営学説を取り上げる。第二に、企業の設立形態、支配構造、企業間関係などの企業論の基本を学ぶ。第三に、経営戦略論とマーケティングを取り上げ、企業と市場の関係について解説する。最後に、技術経営の基礎理論や主要産業の生産システムについて学ぶ。 | |
| 授業の目的 この授業は経営管理論の基本的な概念を幅広く修得することをねらいとしている。 | |
| 到達目標 | |
| 到達目標は下記の通りである。 ・組織と労働者との緊張関係を経営学の視点から捉えることができる。 ・企業の形態と支配構造について説明することができる。 ・企業の市場に対する働きかけや事業領域の選択行動などを経営学の視点から説明することができる。 ・産業の技術的条件が経営管理に与える影響を説明することができる。 | |
| 授業計画並びに授業及び学習の方法 | |
| 【授業計画】 第1回 イン트로ダクション 第2回 科学的管理法 第3回 企業形態とコーポレートガバナンス 第4回 企業の境界 第5回 全社戦略 第6回 企業間関係論 第7回 企業集団と系列 第8回 競争戦略 (1) 市場におけるポジショニング 第9回 競争戦略 (2) リソーススペースレビュー 第10回 マーケティング 第11回 製品アーキテクチャ 第12回 製品開発パターン 第13回 生産システム論 第14回 サービス産業の現場管理 第15回 講義のまとめ 【学習の方法】 授業中に配布された資料、書き取ったノートを用いて復習をすること。さらに、授業中に紹介した参考文献や資料を用いて学ぶことによってより深い理解が得られる。 | |
| 教科書・参考書等 教科書は使用しない。 【参考文献】 伊丹敬之、加護野忠男『ゼミナール経営学入門 第3版』日本経済新聞出版社、2003年。3000円 | |
| 履修上の注意・担当教員からのメッセージ この授業で学んだ理論を使って、具体的な企業の行動を分析できるようになってほしいと考えています。 | |

| | | | |
|--------------|---|-------|------------------|
| 講座名 | グループディスカッションを体験しよう！ | | |
| 担当学部 | 教育学部 | 担当教員名 | 野崎武司 |
| 開講期間 | 平成 30 年 8 月 7 日 (火) | 授業時間 | 午前 9 時 30 分～12 時 |
| 受入可能人数 | 100 名 | | |
| 授業の目標等 | <p>資質・能力を評価する試験方法を体験的に理解する。</p> <p>現在、資質・能力の形成を意図した教育改革が進められています。例えば教員採用試験では、集団討論やグループワーク（テーマに沿った劇を作って発表するなど）などが導入されています。大学入試改革の中でグループディスカッションを基軸にした AO 入試なども増えてきました。そうした内実を体験しながら理解を深めましょう。</p> | | |
| 授業の概要・計画等 | <p>双方向型の授業を目指します。</p> <p>9:30～10:00 「資質・能力とは何か？ どのように評価されるのか？」 「資質・能力」の基本的な考え方を説明し、簡単な指標で自己分析してもらいます。</p> <p>10:00～10:50 「グループディスカッション 1」（大学生の集団討論を見学しよう！） 教員採用試験（二次試験）に向けて集団討論に取り組んでいる大学四年生の模範討論を見学し、おおよその評価の観点をお伝えします。</p> <p>11:00～12:00 「グループディスカッション 2」（実際に体験してみよう！） 数名の高校生（志願者）に大学生との集団討論に参画してもらいます。 また近くでグループを組んで実際にミニ討議をやって見ましょう！</p> | | |
| テキスト・教材・参考書等 | <p>「集団討論」でネット検索してみよう！</p> <p>各テーマについて、配布資料等を準備します。</p> | | |
| 履修上の注意 | <p>特にありません。</p> | | |
| 高校生へのメッセージ等 | <p>息長く自分磨きに励む高校生を応援します！</p> <p>香川大学教育学部の AO 入試でもグループディスカッションが予定されています。今回の内容は、直接入学試験に関わるものではありません。教育学部に入学後に直面する教員採用試験の実情を理解し、今後の自分磨きに生かしてもらいたいと思います。教員採用試験や大学受験の対策として捉えて欲しくありません。そのところ、よろしく。</p> | | |

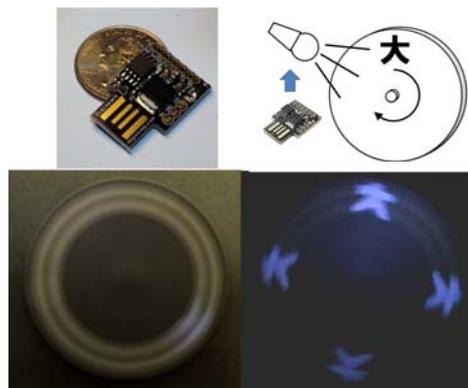
| | | | |
|-------------|--|---------|--------------------------------------|
| 講座名 | 大学体験授業「科学・技術の面白さを体験しよう」 | | |
| 開設学部 | 創造工学部 | 講師(代表者) | 楠瀬 尚史 |
| 開設期間 | 7月25日(水) ～7月27日(金) | 講義時間 | 午前の部:10:00～13:00 午後の部:14:00～17:00 |
| 実施場所 | 創造工学部(林町キャンパス) 2号棟, 6号棟, ものづくり工房 | 受入可能人数 | 25名/テーマ |
| 講座の趣旨等 | <p>創造工学部の教育・研究分野に関する内容を高校生の皆さんに知ってもらい、実験を交えた講義を通して創造工学部の基礎である科学・技術に触れて、その面白さを実感してもらうことを主な目的にしています。(対象とするのは高校2、3年生です。)</p> <p>この講座を受講してもらうことで、高校での数学・物理・化学・生物などの勉強が将来の大学での勉強や研究にどのようなつながるかが、高校生の皆さんにわかり易くなると考えています。</p> | | |
| 講座の概要等 | <p>この講座で取り上げる内容は、創造工学部のスタッフが研究している領域と関連しているものです。内容のレベルは高校の物理・化学の進度を想定して考えています。高校生の皆さんが興味を持てるように、実験・観察およびデモンストレーションをなるべく行うようにしています。実施予定のテーマは以下のようなもので、それぞれ午前または午後の部で完結するようになっています。</p> <p><u>1日目(7月25日(水))</u> (午前)「マイコン制御のストロボスコープで動きを止める」 (午後)「光と物質の相互作用を知ろう」</p> <p><u>2日目(7月26日(木))</u> (午前)「原子と分子の本当の姿を見てみよう」 (午後)「電子回路(FPGA)を使ってストップウォッチとルーレットを作ってみよう」</p> <p><u>3日目(7月27日(金))</u> (午前)「形状記憶合金に触れてみよう」 (午後)「プラスチックから電池～導電性高分子の作製とエレクトロクロミズム～」 <u>詳細は別紙を見てください。</u></p> | | |
| 参考書等 | <p>筆記用具を用意してください。 各テーマについてこちらで準備した資料を配付します。(参考書は必要なし)</p> | | |
| 受講上の注意 | <p>特に危険な実験等はないので安心して参加してください。また、創造工学部(林町キャンパス)への途上での交通事故などに注意して創造工学部(林町キャンパス)へ来てください。</p> | | |
| 高校生へのメッセージ等 | <p>各テーマの講義や説明はなるべく平易に行う予定ですが、質問・疑問があるときは気軽に聞いてください。また、実験にも積極的に参加してください。実際に体験することで科学・技術の面白さがより深く分かります。</p> | | |

別紙

1. テーマ名 「マイコン制御のストロボスコープで動きを止める」

1.1 概要

高速で運動する物体や変化する現象を観察するためにストロボスコープという特殊な照明を使います。一秒間に数十から数百回の点滅、光ってる時間が数ミリ秒ほどの瞬間的な光を使うと、振動する物体や回転する円板が静止しているかのように観察できます。本講義では、小型のマイコンと発光ダイオードを使って簡単なストロボスコープを製作します。



1.2 講義内容

電気回路の基本的な話（半導体、LED）、マイコンのプログラムなど説明したあと、実際に電気基板上に部品をはんだ付けしてストロボスコープとして完成させます。

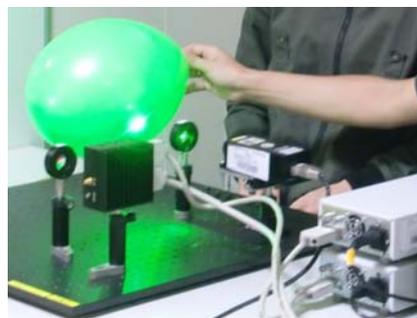
1.3 実験・工作

プログラム書き込み済みのマイコン基板と、必要な電気部品を回路基板にはんだ付けして組み立てます。完成後、回転する円板に書いた文字を読む、振動する板の波を観察するなど実験をします。完成したストロボスコープは持ち帰ることができます。

2. テーマ名 「光と物質の相互作用を知ろう」

2.1 概要

光は我々の暮らしに欠かせないものです。ものが見える、ということは光の存在抜きでは語れませんし、太陽からの光なしでは現在の地球上の生物の繁栄はありません。現在、私たちは光を人工的に自由自在に発生、制御することで、日々の生活に役立てています。レーザーは20世紀の3大発明の一つといわれており、21世紀の今日も光を用いた技術はますます重要になってきています。本テーマではその光と物質の関係がどのようになっているか、その基礎を講義するとともに簡単な実験を通してそれらを理解していきます。



2.2 講義内容

まず、初めにレーザー光を用いて風船が割れるかどうかの実験を演示します。その結果を通して光とは何か、色とは何かについて概説します。そして、レーザーの原理について解説します。また、光の波動性に起因する干渉や回折、偏光などについて解説し、実験を通じてより深く理解していきます。

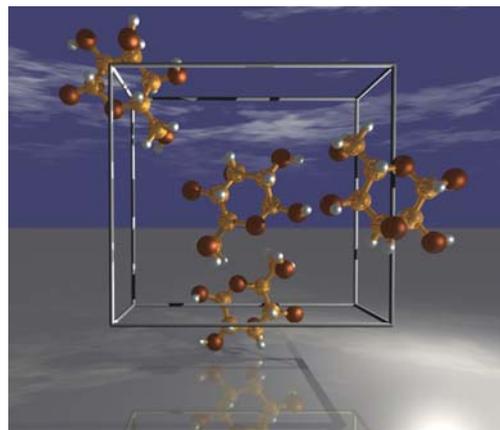
2.3 実験・工作

- ① レーザーによる風船割り実験を演示します。
- ② 偏光板を用いた「見えるけど触れない壁」の工作をします。
- ③ レプリカ回折格子を用いた簡易分光器を作製し、色と波長の関係について学びます。

3. テーマ名 「原子と分子の本当の姿を見てみよう」

3.1 概要

原子や分子はとても小さいのですが、X線や電子線を用いることにより、原子がどのように並んでいるのかを調べることが出来ます。一方、さらに小さな電子の姿は、残念ながら直接見ることは出来ませんが、理論的にはかなり正確に予測することが出来ます。この講義では、高校生が学ぶ電子殻の姿と、大学で学ぶ電子軌道の『本来の姿』の違いなどを、分子軌道計算を用いて自らがパソコンで描画することを行います。



原子や分子によって発現される物性は、全て電子構造によって決定されるので、電子の構造を制御することで、物性を自由自在に制御することも出来ます。

3.2 講義内容

講義では、原子の電子軌道を学び、分子の構造や分子の電子軌道などを勉強します。

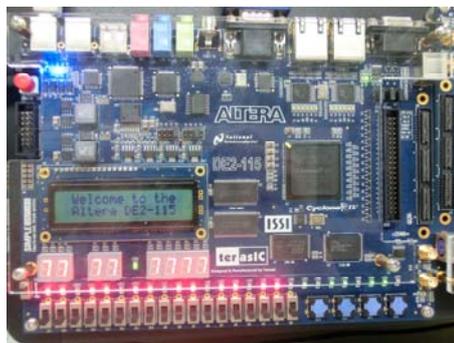
3.3 実験・工作

計算機実験をパソコン上で行います。分子軌道計算を用いて、分子の構造と電子の軌道などを描画します。

4. テーマ名 「電子回路(FPGA)を使ってストップウォッチとルーレットを作ってみよう」

4.1 概要

近年、さまざまな電子機器（例えば携帯電話やテレビ等）において使われている集積電子回路（FPGA：書き換え可能なLSI）を用いて、簡単なストップウォッチとルーレットを作製します。コンピューターなどに使われているデジタル回路の演習にもなります。



4.2 講義内容

デジタル回路の話、2進数の説明をした後に、配布するサンプルプログラムを集積電子回路であるFPGAに転送し、LEDを光らせます。

次に、簡単な例題を解く演習を行った後に、FPGAを用いてストップウォッチ等の作製を行います。

4.3 実験

VHDLと呼ばれるハードウェア記述言語を用いてプログラミングを行い、ストップウォッチとルーレットを作製します。作製したあとで、スイッチを押して動作確認を行います。一人一台の実習ボードを用意しますので、各自のペースで作製できます。

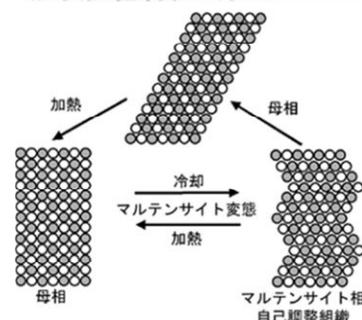
5. テーマ名 「形状記憶合金に触れてみよう」

5.1 概要

形状記憶合金(Shape Memory Alloy)とは、形を覚えさせるための熱処理を施すと、化学組成などで決まる特定の温度より低い温度で変形しても、その特定の温度以上に加熱すると、覚えさせられた(記憶している)形に復元する性質の金属材料です。また形状記憶合金のもう一つの特徴には「超弾性」があります。これは特定の温度よりも高い温度で力を加えればねのような可逆的な変形が生じる現象です。



形状記憶特性 原理



5.2 講義内容

形状記憶特性の主役は金属の“マルテンサイト変態”という現象です。講義ではまず、この相変態の特徴を勉強して、実際に形状記憶合金に触れて、その特性を体験しましょう。

5.3 実験・工作

実際の形状記憶合金に対して、形を覚えさせる熱処理を施します。その際、自分の好きな形に形状を変化させて、熱をかけます。その後、強く変形させてあげて、加熱して、実際に形状が回復する現象を見てもらいます。また、自分の干支の動物に形状記憶されたプレゼントもあります。

6. テーマ名 「プラスチックから電池～導電性高分子の作製とエレクトロクロミズム～」

6.1 概要

我々の身近にある携帯電話など軽量のデバイスに使われる電子材料は、電気の流れる金属やシリコン半導体だけでは作られていません。電気性能とともに“軽量である”ことも求められており、金属やシリコンだけで作製した場合、非常に重く、持ち運びには不向きです。一方、金属などよりも軽量のプラスチックは普通電気を流さない絶縁体(ガラスなどのように電気が流れない物質)です。しかし、電気の流れるプラスチックも存在し、それらを利用することで、タッチパネルや軽量のデバイスが開発されています。本講義では、この電気の流れるプラスチック(導電性高分子)と、それを利用した簡単な電池の作製を行います。

6.2 講義内容

高分子に関して学び、導電性高分子の合成法の一つである電解重合を学びます。次に、電池の仕組みと電流が流れることで物質の色が変化するエレクトロクロミズムという現象に関して学びます。

6.3 実験・工作

金属板上にアニリンという有機分子から作られる導電性高分子の薄膜を作ります。作った薄膜は異なる溶液に入れて電池から電流を流すと、薄膜が黄色から濃い緑に色が変わります。その深い緑色の状態は電荷がたまっている電池として駆動できる状態です。これにブザーを接続し、電池としての性能を評価します。

| | | | |
|-------------|---|--------|--------------------------------------|
| 講座名 | 農学部サイエンスアドベンチャー講座 2018 “厳しい環境に耐える植物のしくみとその利用” | | |
| 開設学部 | 農学部 | 講師 | 東江 栄 教授 |
| 開設期間 | 8月7日(火) | 講義時間 | 10:30~12:00 講義 13:00~16:00 研究室体験等 |
| 実施場所 | 三木町農学部キャンパス 10:30~ 農学部 DS304 13:00~ 各研究室等 | 受入可能人数 | 25 名 |
| 講座の趣旨等 | <p>香川大学農学部は、「食糧」、「環境」、「生命」など、21世紀の私たちの豊かな生活を実現するための重要な課題に取り組んでいます。本講座では、香川大学農学部の講義・実習を通じて最新の興味深い科学を体験し、農学部の研究内容への理解を深め、サイエンスにより関心をもってもらうことを目的とします。</p> | | |
| 講座の概要等 | <p>「農学部」という学部名から、畑仕事や家畜の世話等を連想するかもしれませんが、実際には農学部では皆さんが想像している以上に幅広い専門分野の研究に取り組んでいます。環境、食品、天然物化学、生命科学等に関する課題を解決するために、海・山のフィールドワークから遺伝子を対象とする室内実験まで活動の場は広く、微生物から植物、動物に至るまで多種多様な生物を扱っています。また、販売・流通といった経済学的な課題も研究しています。</p> <p>講義：午前に行います。資源植物の特性と利用について紹介します。資源植物は、作物にはない興味深い特性をもっています。ある種の植物は、海水を含む土壌でも生存できます。また、水のない状態で数年おかれても復活できる植物や、健康増進作用の高い物質を作る植物、さらに有害物質を土壌から除去してくれる植物もいます。これからの作物は、今後ますます厳しくなる環境条件の下で生きることができ、収穫量が多く、栄養価が高いことが求められます。しかし、これまでの作物は比較的限られた（遺伝的多様性の低い）種間の交雑でできたもので、現状の能力を飛躍的に高めることは困難です。私たちはアイスプラントという野生の植物を新しい野菜として流通させました。この植物は、海水をかけても枯れない耐塩性の強い植物で、人体にとって有用な機能性物質を作ります。この講義では、アイスプラントを主体に、作物の能力を高めるための手がかりとなる植物のしくみや、野生の有用植物を作物として活用する研究事例等を紹介します。</p> <p>研究室体験等：午後からは、研究紹介ツアーや研究体験、附属施設見学、入試相談などに参加することができます。</p> | | |
| 参考書等 | 特に使用しません。 | | |
| 受講上の注意 | 筆記用具とノート等を持参して下さい。 なお、午後からは研究室体験、相談会などの催しを行います。 | | |
| 高校生へのメッセージ等 | <p>本講座を通して、香川大学農学部での講義と学生実験の一部が体験出来ます。必ず、何か興味が持てるものが見つかるはずです。疑問や関心が芽生えたら何でも積極的に質問して下さい。「おもしろい!」「調べてみたい!」ことを発見する、それがサイエンスの第一歩です。</p> | | |

平成30年度行事予定表（昼間）

第1学期

第2学期

| 第1学期 | | | | | | | 第2学期 | | | | | | | | |
|------|---|---|------------------------|------------|----------------------|----------------------------------|------|-----|---|--------------------|-------------|------------|-----------------------|---------------------|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | | |
| 4月 | 1 第1学期開始 | 2 | 3 入学式・ガイダンス (毎年4/3) | 4 新入生ガイダンス | 5 新入生修学相談 会 | 6 新入生修学相談会・ 新入外国人留学生ガイ ダンス | 7 | 10月 | 1 第2学期開始 大学記念日 | 2 授業開始 | 3 | 4 | 5 | 6 新入外国人留 学生ガイダンス | |
| | 第1学期・第1クォーター履修登録期間 4/1~4/6 13時まで(ただし、H30年度新入生は4/3~4/6 13時まで) (抽選) | | | | | | | | 履修登録期間(ただし、H30年度10月入学者のみ対象) | | | | | | |
| | 8 | 9 定期健康診断・新 入生修学相談会 新入生歓迎祭 履修登録予備日 | 10 授業開始 | 11 | 12 | 13 | 14 | 7 | 8 | 9 振替授業(月) | 10 | 11 | 12 | 13 | |
| | 15 | 16 | 履修登録取消申請期間 | | | | 21 | 14 | 15 | 16 | 履修登録取消申請期間 | | | | |
| | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | |
| | 29 | 30 | 1 振替授業(月) | 2 振替授業(金) | 3 | 4 | 5 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 振替授業(金) | 2 前夜祭 (臨時休業) | 3 | |
| 5月 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 11月 | 4 | 5 大学祭撤収日 (臨時休業) | 6 | 7 振替授業(月) | 8 | 9 | 10 |
| | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 | | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 1 |
| | 第2クォーター履修登録期間 5/25~5/30 13時まで (抽選) 履修登録予備日 | | | | | | | | 第4クォーター履修登録期間 11/16~21 13時まで (抽選) 履修登録予備日 | | | | | | |
| 6月 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 12月 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | 23 | 24 | 25 冬季休業~1/7 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| | 履修登録取消申請期間 | | | | | | | | 30 | 31 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7月 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 1月 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | | 13 | 14 | 15 振替授業(月) | 16 振替授業(金) | 17 | 18 会場設営 (臨時休業) | 19 |
| | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 振替授業(月) | 21 | | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 |
| | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 オープンキャン パス(医学部) | 3 オープンキャン パス(医学部) | 4 | | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 |
| | 第1学期定期試験期間 | | | | | | | | 履修登録予備日(注) | | | | | | |
| 8月 | 5 | 6 夏季休業~9/30 | 7 オープンキャン パス | 8 | 9 | 10 | 11 | 2月 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 振替試験(月) 振替授業(月) | 15 | 16 |
| | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 入試会場設営 | 23 |
| | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 1 | 2 |
| | 授業・定期試験予備日 | | | | | | | | 第2学期定期試験期間 | | | | | | |
| | 教職員夏季一斉休業 | | | | | | | | 入学者選抜試験(前期)医学科のみ26日まで | | | | | | |
| | 履修登録予備日 | | | | | | | | 入学者選抜試験(後期)医学科のみ13日まで | | | | | | |
| 9月 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 3月 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | | 10 | 11 春期休業~3/31 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| | 30 | 第2学期・第3クォーター履修登録期間 9/18~21 13時まで (抽選) 履修登録予備日 | | | | | | | | 卒業式(毎年3/24) | | | | | |
| | | | | | | | | | 第2学期終了 | | | | | | |

(注)土曜日の授業予備日は、気象警報の発令等により休講となった授業に限り、補講を実施するものとする。

平成30年度行事予定表（法・経済学部夜間主コース）

第1学期

第2学期

| 第1学期 | | | | | | | 第2学期 | | | | | | | | |
|------|---|-------------|-------------------------------|----------------------|----------------------|----------------------------------|------|----------------|--------------------------|-----------------------|-----------------------|-------------------|----|---------------------|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | | |
| 4月 | 1 第1学期開始 | 2 | 3 入学式・ガイダンス (毎年4/3) | 4 新入生ガイダンス | 5 新入生修学相談 会 | 6 新入生修学相談会・ 新入外国人留学生ガイ ダンス | 7 | 10月 | 1 第2学期開始 大学記念日 | 2 授業開始 | 3 | 4 | 5 | 6 新入外国人留 学生ガイダンス | |
| | 第1学期履修登録期間 4/1~4/6 13時まで(ただし、H30年度新入生は4/3~4/6 13時まで) (抽選) | | | | | | | | | | 履修登録取消申請期間 | | | | |
| 8 | 9 定期健康診断・新 入生修学相談会 新入生歓迎祭 履修登録予備日 | 10 授業開始 | 11 | 12 | 13 | 14 | 7 | 8 | 9 振替授業(月) | 10 | 11 | 12 | 13 | | |
| 15 | 16 | 履修登録取消申請期間 | | | | 21 | 14 | 15 | 16 | 履修登録取消申請期間 | | 19 | 20 | | |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | | |
| 29 | 30 | 1 振替授業(月) | 2 振替授業(金) | 3 | 4 | 5 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 振替授業(金) | 2 前夜祭 (臨時休業) | 3 | | |
| 5月 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 11月 | 4 | 5 大学祭撤収日 (臨時休業) | 6 | 7 振替授業(月) | 8 | 9 | 10 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | | |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | | |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 1 | | |
| | | | | | | | | 第2学期定期試験(前半)期間 | | | | | | | |
| 6月 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 12月 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| | 第1学期定期試験(前半)期間 | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | | |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | | |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 23 | 24 | 25 冬季休業~1/7 | 26 | 27 | 28 | 29 | | |
| | | | | | | | 30 | 31 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| 7月 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 1月 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 13 | 14 | 15 振替授業(月) | 16 振替授業(金) | 17 | 18 会場設営 (臨時休業) | 19 | | |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 振替授業(月) | 21 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | | |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 | | |
| 29 | 30 | 31 | 1 | 2 オープンキャン パス(医学部) | 3 オープンキャン パス(医学部) | 4 | | | | | | | | | |
| | 第1学期定期試験(後半)期間 | | | | | | | | | | | | | | |
| 8月 | 5 | 6 夏季休業~9/30 | 7 オープンキャン パス | 8 | 9 | 10 | 11 | 2月 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| | 授業・定期試験予備日 | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 振替試験(月) 振替授業(月) | 15 | 16 | | |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 17 | 18 | 19 | 第2学期定期試験(後半)期間 | | 22 入試会場設営 | 23 | | |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | | | | 授業・定期試験予備日 | | | | | |
| | | | | | | | 24 | 25 | 26 入学者選抜試験(前期)医学科のみ26日まで | 27 | 28 | 1 | 2 | | |
| 9月 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 3月 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 10 | 11 春期休業~3/31 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | | |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 17 | 18 | 19 | 入学者選抜試験(後期)医学科のみ19日まで | | 22 | 23 | | |
| 23 | 24 | 25 | 第2学期履修登録期間 9/18~21 13時まで (抽選) | | | 29 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | |
| 30 | | | | | | | 31 | 第2学期終了 | | | | | | | |

(注)土曜日の授業予備日は、気象警報の発令等により休講となった授業に限り、補講を実施するものとする。

【香川大学幸町キャンパスマップ】

- ① 南1号館 (講義室、演習室)
- ② 南2号館
(教員実験室、研究室、演習室、インフォマティクス)
- ③ 南3号館 (研究室、講義室)
- ④ 南4号館 (研究室、演習室)
- ⑤ 南6号館 (法学部、連合法務研究科
(研究室、講義室、演習室))
- ⑥ 南7号館 (経済学部 研究室)
(地域マネジメント研究科 研究室)
- ⑦ 北1号館 (自然科学教棟)
博物館
- ⑧ 北2号館 (美術教棟)
- ⑨ 北3号館 (人文教棟)
- ⑩ 北4号館
- ⑪ 北5号館 (教養教育棟)
男女共同参画推進室
四国グローバルリーガルセンター
バリアフリー支援室
- ⑫ 北6号館
- ⑬ 北7号館 (音楽教棟)
- ⑭ 北8号館
- ⑮ 第一体育館
- ⑯ 第二体育館
- ⑰ 武道場
- ⑱ 講堂
- ⑲ 又信記念館
- ⑳ 課外活動共用施設
- ㉑ 保健管理センター
- ㉒ 南5号館・
総合情報センター
- ㉓ 図書館
- ㉔ 大学会館
キャリア支援センター
学生支援センター
大学教育基盤センター
大学連携e-Learning教育支援センター四国
- ㉕ OLIVE SQUARE
- ㉖ 交友会館
(経済研究所、演習室、自習室)
- ㉗ 研究交流棟
生涯学習教育研究センター
アドミッションセンター
- ㉘ 附属教職支援開発センター
- ㉙ 大学本部
- ㉚ 若草寮
- ㉛ 教育学部事務室 (総務係、学務係)



公開授業受講初日集合場所
【大学会館2階 学務グループ】

各施設所在地



1 幸町キャンパス

教育学部／法学部／経済学部
地域マネジメント研究科
香川大学・愛媛大学連合法務研究科

- JR高松駅から車で約5分 ● JR昭和町駅から徒歩5分
- 高松空港から車で30分
- 高松西IC(高松道)から車で20分(西方面よりお越しの場合)
- 高松中央IC(高松道)から車で20分(東方面よりお越しの場合)
- JR高松駅からことんバス「市民病院ループバス」で香川大学教育学部または香川大学法学部・経済学部下車徒歩1分

3 三木町医学部キャンパス

医学部

- JR高松駅から車で約30分
- ことん高松築港駅から高田までことん長尾線で25分、高田駅からことんバス「高松医療センター・大学病院線」で約5分
- JR高松駅からことんバス「高松医療センター・大学病院線」で約40分
- 高松空港より車で約30分
- さぬき三木IC(高松道)より車で約5分(東方面よりお越しの場合)
- 高松東IC(高松道)より車ですぐ(西方面よりお越しの場合)

2 林町キャンパス

工学部

- JR高松駅から車で約20分
- JR高松駅からことんバス「サンメッセ・川島・西植田線」で香川大学工学部前下車
- ことん太田駅からことんバス「太田駅サンメッセ線」で香川大学工学部前下車
- 高松空港から車で20分
- 高松中央IC(高松道)から車で5分

4 三木町農学部キャンパス

農学部

- JR高松駅から車で約30分
- JR高松駅から大川バス「引田線」で農学部前下車徒歩5分
- ことん農学部駅より徒歩2分
- 高松空港から車で30分
- さぬき三木IC(高松道)から車で10分(東方面よりお越しの場合)
- 高松東IC(高松道)から車で5分(西方面よりお越しの場合)

5 教育学部
附属高松小学校
附属幼稚園高松園舎

6 教育学部
附属高松中学校

7 教育学部
附属坂出小学校
附属坂出中学校
附属幼稚園

8 教育学部
附属特別支援学校

9 農学部附属農場

10 庵治マリンスターション

高校生を対象とした公開授業及び体験授業に係る受講生・保護者連絡先

| | |
|------------|--|
| 受講生所属高校名 | |
| 受講生氏名 | |
| 受講生電話番号 | |
| 受講生メールアドレス | |
| 保護者氏名 | |
| 保護者連絡先 | |

香川大学から受講決定の通知がありましたら、受講初日にこの用紙と受講料をお持ちください。公開授業は1科目につき、「15(16)回の授業は2,300円」、「8回の授業は1,800円」。体験授業は無料。)

なお、上記の個人情報は、香川大学が高校生対象公開授業及び体験授業の実施に当たり必要な範囲において利用させていただきます。それ以外の目的に利用することはありません。